

■5つの分野の目標と施策の方向

項目		目標	施策の方向			
1	工業	市内におけるものづくり操業環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立地企業との日常的な関係を構築し、道路等のインフラ関係、増改築、雇用に関する事項など操業環境の課題を共有し、本市における事業継続のための操業環境の確保を図ります。</li> </ul>	1	立地製造業への企業訪問と意見交換の場の設置	・市職員、商工会議所職員などによる日常的な企業訪問を行うとともに、通勤環境の確保など北部地域の製造業（工業会等）との定期的な意見交換の場を設置し操業環境に関する課題を共有します。
				2	公的支援機関と連携した経営支援の実施	・公的支援機関の活用は低い傾向にありますが、これまで実施してきた展示会出展支援のほか製造業への支援を実施している国や県、（公財）関西化学術研究都市推進機構などの公的支援機関と連携した経営支援を実施し、市内企業向けに、これら機関の支援情報を発信します。
				3	生産現場の体験機会の創出	・本市の伝統的芸術産業や製造業の集積を活かした生産現場における体験の機会、ものづくりの思いに触れる機会を内外に向けて創出し、雇用支援や観光資源化につなげます。
	商業	積極的な商いと魅力ある店舗の創出・発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な小売・飲食事業者の付加価値向上に向けた変革を支援するとともに、新たな開業を促進し、魅力ある店舗の発信や商業イベントの機会などを通じて学びと商いの両立を図ります。</li> <li>・生駒駅南口エリアプラットフォームの取り組みなど駅前の商業集積地の活性化に向けた取り組みを進めていきます。</li> <li>・個店の商いそのものに福祉的価値もあることから、個店の多様な価値を発信し、地域においても、買物、飲食やサービスが楽しめ、暮らしが豊かになる環境づくりを進めます。</li> </ul>	1	小規模・既存店舗への支援	・店舗への個別訪問により、顧客の獲得やキャッシュレス決済等のデジタル化など経営課題を把握し、店舗の魅力等の向上に向けた新たな取組を支援します。
				2	新規開業の促進	・暮らしを豊かにする生活サービスや商品を新たに提供する事業者、地域社会に積極的に関わり、様々な課題にビジネスとして参入する事業者などに、店舗開設の支援を行います。
				3	市内需要の喚起	・市内店舗の認知向上と市民の日常的な購買行動につながる需要喚起のため、飲食・物販イベントや移動販売が定期的開催される仕組みづくりを行います。 ・農業者と飲食店・消費者をつなぎ、市内の仕入れの強化や新たな顧客・リピーターの獲得など農業・食における需要喚起として、地産地消に資する取り組みも進めます。 ・地域の小規模店舗の強みである品揃えや福祉的な価値など今ある潜在的な価値を見える化し、市民の購買行動に寄与する発信を実施します。 ・そのほか、休日の来訪者や市民の消費行動を分析するなどして、潜在需要の把握を行い事業者に情報提供を行います。
				4	有志の商業活動グループへの支援	・事業者の交流を促進し、複数の積極的な事業者が共同で取り組む事業を応援する仕組みをつくり、事業者間での仲間づくりや新たな結びつきの掘り起こしなどを支援する。
				5	新たな観光需要の創造の検討	・本市の魅力や観光の魅力を知らない市民に対し、魅力ある店舗や非日常体験、新型コロナウイルス対策で実施した需要喚起策を通じて人気となった店舗などのPRを通じて来訪・来店を促し、日常の消費活動から市民が誘客の主体となるような仕組みづくりを行います。
2	観光	「住んで楽しい」身近な観光価値が地域経済に繋がる観光振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅都市における観光として、魅力ある店舗やスポット等での、市民の日常的な消費活動を通じて感じる非日常体験といった「住んで楽しい」身近な観光価値の創造を図ります。</li> <li>・こうした観光価値を市民が発信することなどによる関係人口づくりが、地元経済に繋がる観光振興を目指します。</li> </ul>	1	市民がつくる観光の魅力	・本市の魅力や観光の魅力を知らない市民に対し、魅力ある店舗や非日常体験、新型コロナウイルス対策で実施した需要喚起策を通じて人気となった店舗などのPRを通じて来訪・来店を促し、日常の消費活動から市民が誘客の主体となるような仕組みづくりを行います。
				2	来訪者の増加とその需要の受け皿となる事業者の取り組みへの支援	・近隣都市の住民やインバウンドで訪れている外国人などに、これまで実施してきた生駒山のブランド化や着地型観光など、観光施設だけでなく地域としての生駒市の魅力を醸成する取り組みなどを国内外に発信することによって、市外からの誘客を図ります。 ・地域の事業者等が実施する観光関連イベントの開催支援を通じて、市内の観光価値を発信し、需要喚起を実施します。 ・事業者への支援としては、例えば土日や夜間の営業など来訪者の様々なニーズに積極的に対応しようとする事業者の発掘と育成を図ります。
				3	交通機関と連携した来訪スポット周辺の地域資源の活用	・市内の電鉄会社、バス会社やタクシー事業者との連携を強化し、沿線・地域の魅力と交通アクセス性の向上を図ります。また、観光関連事業者や観光ボランティアガイド等と連携し、来訪者の多い観光スポットの回遊性を高めることで、今ある地域資源を有効に活用します。
				4	外国人向けの情報発信や観光ルート等案内の強化	・人気となった店舗の情報などをインバウンドで訪れている外国人に発信します。また、生駒山で感じることのできる非日常性や茶釜・お茶文化の体験など外国人が魅力と感じる細かな情報を届ける仕組みを検討します。 ・1日や半日で移動可能な観光ルートや、北部地域の交通アクセスなど公共交通機関を使った移動に関するガイド機能の向上に向けた取り組みを実施します。
				5	新たな観光需要の創造の検討	・本市の魅力や観光の魅力を知らない市民に対し、魅力ある店舗や非日常体験、新型コロナウイルス対策で実施した需要喚起策を通じて人気となった店舗などのPRを通じて来訪・来店を促し、日常の消費活動から市民が誘客の主体となるような仕組みづくりを行います。
3	雇用・就労	市内事業者の雇用・定着支援と多様な働き方による雇用・就労の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内事業者の事業継続と発展に向け、雇用確保と定着のための支援を行います。</li> <li>・市内の未就業の女性や障がいのある人などの潜在的な就業希望者、多様な働き方を希望する人を支援し、受け入れる市内事業者につなぐことで、多様なライフスタイルを支援するとともに職住近接の雇用・就業環境を実現します。</li> </ul>	1	多様な雇用・就労に向けた支援	・マルチワークやワークシェアリング等の多様な働き方に応じた雇用形態についての学習機会を設け、企業側の検討を促すとともに、未就業者や、マルチワーク、パラレルワーク、半農半X等を検討する市民に対しても多様な働き方の学習、実践者との交流などの機会を設けます。 ・多様な雇用と働き方を希望する市民と、仕事を地域で依頼したい企業・個人事業主との顔の見える交流・マッチングの場についても検討・実施します。
				2	雇用の確保と定着の促進	・雇用の確保について、現在実施しているハローワークとの連携による合同企業説明会の場を課題に即した形で活用するほか、市内雇用の促進に向け市民に事業者の魅力や伝える機会を設けるなど就業希望者とのマッチングを実施します。 ・個人事業主、家族経営の業態の事業者においては、事業承継や非正規雇用者等の確保、多様な就労ニーズに関する課題への対応を支援します。 ・生駒商工会議所等と連携し、社員研修や健康経営など人材の定着に向けた支援を実施します
4	立地	幅広い企業誘致・開業支援と新たな産業集積の創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在実施している製造業向けの立地支援に加え、短期的には、市内の商業地・住宅地への企業誘致・開業支援を実施します。</li> <li>・中長期的には、学研高山地区第2工区の開発における産業集積を目指します。</li> <li>・企業立地はゴールではなくスタートだと認識し、立地企業が生駒市に根を下ろし事業を継続できるようフォローアップに注力します。</li> </ul>	1	新たな企業誘致・開業支援	・空きテナントにサテライトオフィス等を誘致することで商業地の活性化を図ります。また、住宅地における小さな開業を支援することで、まちなかでの新たな事業者の立地を促進します。 ・製造業以外の産業の誘致についても検討し実施します
				2	学研高山地区第2工区における産業機能の集積	・学研高山地区第2工区において、土地利用の方向性に基づき産業機能の集積を目指します。
				3	立地企業へのフォローアップの実施	・立地企業やサテライトオフィス誘致、企業支援により開業した事業者などに対し、市職員、商工会議所職員などによる日常的な企業訪問を行うとともに、定期的な意見交換・交流の場を設置するなどしてフォローアップを実施します。 ・既存事業者も含め、事業承継やBCPなど事業継続に向けた支援も実施します。
5	起業	ローカルビジネス起業の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人を顧客にし、地域の人を雇用する「ローカルビジネス」から、コミュニティビジネス、ソーシャルビジネスを含む起業を促進するため、起業意欲の醸成と、始めやすかつビジネスの継続を可能にする支援のエコシステムを構築し、地域で起業しやすい環境づくりを行います。</li> </ul>	1	起業意欲の醸成と教育	・起業意欲の醸成を図るため身近な企業家との交流の場を設けます。 ・学校や地域でも起業に関する授業やワークショップを実施するなどし、起業という選択肢があることを知り、物事を自分事として捉え行動する力を高める取組を実施します。
				2	起業者の成長ステージに応じた支援	・事業の構想、ビジネスアイデアの段階から、事業計画、起業準備、起業後の交流・マッチングの場までの各ステージにおけるリスク軽減への支援を産学公民金の支援者と連携して実施します。 ・すでに起業した方、パラレルキャリアを目指す方、既存事業者の後継者などが、新たな事業に取り組む第2創業についても同様の枠組で支援します。 ・出産・子育てで世代など、時間や場所に制約されない柔軟な働き方ができるスモールビジネスの起業についても、特有の支援ニーズに配慮し、出産・子育て支援等の他の取組と連携し支援します。
				3	市民や事業者が地域の起業を応援する環境の醸成	・起業が、地域住民の生活の向上や交流の促進、職住近接の雇用・就労機会の提供に貢献していることについて発信し、市民や事業者が起業を応援する環境を醸成します。 ・また、事業者間、商工・観光業以外の業種、経済団体・地域団体、有志のコミュニティ、フリーランスなど多様な主体との関わりの中で、顔の見える関係性が持てる場づくりを行い、起業者と各主体との相互のビジネスを応援する環境を醸成します。
				4	大学発ベンチャーへの支援	・奈良先端科学技術大学院大学が実施する大学発ベンチャー支援と連携し、地域課題・地域資源・市内事業者と連携した実証の場の提供、県や他の公的支援機関、金融機関等と連携した支援などを検討し、市内発ベンチャーの創出環境を構築します。

# ■本ビジョンの目指す将来像と推進に向けた取り組みの全体イメージ

## めざす将来像

将来世代に向けて、「住みよさに、働きやすさ、楽しさ」も生み出す、新しい住宅都市の創造

## 基本方針

- 変革と挑戦に取り組む事業者の発掘と育成
- 顔のみえるまちなか経済循環の創出

## 取組指針

- ① 生駒市で活動する事業者の経営革新の取り組みを支援
- ② 生駒市での新たなビジネスや新分野への挑戦を支援
- ③ 生駒市における生産者と消費者の出会いの場を創出
- ④ 生駒市で活躍する人材を増やす
- ⑤ 生駒市において新たな需要を創出

## 5つの分野の目標と施策の方向

商工業	工業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市内におけるものづくり操業環境の確保</li> <li>○ 立地製造業への企業訪問と意見交換の場の設置</li> <li>○ 公的支援機関と連携した経営支援の実施</li> <li>○ 生産現場の体験機会の創出</li> </ul>
	商業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 積極的な商いと魅力ある店舗の創出・発信</li> <li>○ 小規模・既存店舗への支援</li> <li>○ 新規開業の促進</li> <li>○ 市内需要の喚起</li> <li>○ 有志の商業活動グループへの支援</li> </ul>
	観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「住んで楽しい」身近な観光価値が地域経済に繋がる観光振興</li> <li>○ 市民がつくる観光の魅力</li> <li>○ 来訪者の増加とその需要の受け皿となる事業者の取り組みへの支援</li> <li>○ 交通機関と連携した来訪スポット周辺の地域資源の活用</li> <li>○ 新たな観光需要の創造の検討</li> </ul>
	雇用就労	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市内事業者の雇用・定着支援と多様な働き方による雇用・就労の促進</li> <li>○ 多様な雇用・就労に向けた支援</li> <li>○ 雇用の確保と定着の促進</li> </ul>
	立地	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 幅広い企業誘致・開業支援と新たな産業集積の創造</li> <li>○ 新たな企業誘致・開業支援</li> <li>○ 学研高山地区第2工区における産業機能の集積</li> <li>○ 立地企業へのフォローアップの実施</li> </ul>
	起業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ローカルビジネス起業の促進</li> <li>○ 起業意欲の醸成と教育</li> <li>○ 起業家の成長ステージに応じた支援</li> <li>○ 市民や事業者が地域の起業を応援する環境の醸成</li> <li>○ 大学発ベンチャーへの支援</li> </ul>

## ビジョンで達成する各分野の5年後の姿

### 雇用を増やすものづくり企業のあるまち

- ・ 事業規模が拡大し雇用を増やす企業が増加している
- ・ 公的支援機関を活用した経営革新が増加している
- ・ オープンファクトリーに取り組む事業者が増加している

### 魅力ある店舗とにぎわいのあるまち

- ・ 地域に愛される店舗が継承され身近な商業機能が確保されている
- ・ 駅前、まちなかに魅力ある店舗が増加している
- ・ 消費の受け皿となる個店が増え、市内消費が増加している
- ・ パルやフェスタなどが日常的に開催され駅前に活気と魅力がある

### 身近な観光で地域経済がまわるまち

- ・ 市民が誘客の主体となって、多様な来訪者が訪れている
- ・ 生駒山のほか、まちなかや市内周遊ルート、地域観光イベントなど新たな観光が創出され来訪機会が増加している
- ・ 来訪者の滞在時間と消費が増え地域経済に貢献している
- ・ 宿泊施設など新たな観光拠点の立地が計画されている

### 多様な働き方が実現するまち

- ・ マルチワーク、パラレルキャリア等を実践する市民が増加している
- ・ 市内事業者で多様な雇用が採用され、雇用が定着している
- ・ 女性や障がい者などの就労が進み市内雇用者が増加している

### 多様な企業が立地し定着するまち

- ・ 製造業のほか、多様な事業者が駅前やまちなかにも移転・開業が進んでいる
- ・ 学研高山地区第2工区で新たな産業と雇用が生まれている

### 起業者が地域でつながり身近にいるまち

- ・ 子どもから大人までが起業を身近に感じることができている
- ・ ローカルビジネスが生まれ育ちやすい環境ができている
- ・ 大学発等のスタートアップが生まれている
- ・ 地域や社会の課題が地域のビジネスで解決されている